

NPO 京都コミュニティ放送  
第 113 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017 年 6 月 27 日（火）10：30～12：00  
会 場：イヌイ四条ビル 3 階「flag 四条」  
出席委員：竹下清 岡本卓也 中村正  
欠席委員：山本時子 福井秀彦 ジェフ・バーグランド  
オブザーバー：竹村知紘さん  
局側委員：町田寿二 松岡千鶴 松下諒多（順不同敬称略）  
ゲスト： 「ミッドナイト・グーココ」

（第 1・3 金曜日 深夜 0 時から放送 30 分番組）  
番組オーナー 竹村さと子さん

■ 審議番組

「ミッドナイト・グーココ」

（第 1・3 金曜日 深夜 0 時から放送 30 分番組）

ちょっとした感動や喜び、普段伝えられない「想いを伝える」グーなココ。。

■ 番組審議

冒頭、番組オーナー竹村さんから番組趣旨の説明があった。

情報を伝える番組と位置付けている。

2017 年 4 月 7 日放送の番組を聞いて審議に入った。

- ・月 2 回の 30 分番組はボリュームがある。どんなゲストを呼んでいるのか？
- ・主には京都の経営者、時には学生がゲスト。（竹村）
- ・30 分は長丁場なので音楽を中に入れてはどうか。ホッとするし場面転換にもなる。
- ・お手紙を読むコーナーを楽しみにしている方も多い。15 回に 1 回位、手紙を読みながら号泣される方がいる。（竹村）
- ・30 分番組の中でゲストの人となりが分かるので、リスナーも手紙の内容を自然に受け入れられると思う。
- ・シンガーがゲストの場合もトークを重視している。（竹村）
- ・CM はどの様に作っているのか？竹村さんは良い声だが。
- ・トークの関西弁とアナウンスのおしゃべりは使い分けている。聞いてもらうためにアンケートをとったり、SNS でも PR している。（竹村）
- ・アンケートの結果を番組に反映させたことはあるのか？
- ・ゲストを事前告知して、聞きたい質問を聞いたりすることもある。（竹村）
- ・撮りだめすることはあるのか？
- ・今を大切にしているので撮りだめはしない。（竹村）
- ・プロなので内容が練り上げられている。手紙の号泣も作られてはいるが偶然でもある。
- ・徳島県の離島に漂流郵便局宛に届いた手紙を展示している美術館がある。人の心にたまった行き場のない気持ちを届ける場所になっている。竹村さんがラジオというメディアで心の錨をおろす場所を作っているのではないか。
- ・放送時間は何故深夜なのか？
- ・facebook で告知した URL で放送の翌日の午前中に聞く方が 8 割。（竹村）
- ・放送を聞いてもらうには SNS の活用は有効な手段だ。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2017 年 7 月 10 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2017 年 7 月 10 日からホームページで公開した。